

# みんなの声を市政に



大塚秀喜 議員

## 桜川市の公共交通 について

**問** 市の公共交通の現状と市内循環バスの運行計画について伺いたい。

**答** 市長公室長 現在、JR水戸線、路線バス及びデマンドタクシーの運行事業を実施しています。路線バスは不採算を理由に次々と廃止になり、現在運行している唯一の路線バスも平成二十三年三月で廃止の予定です。

デマンドタクシーの運行については、相次ぐ路線バスの廃止や交通弱者の移動手段、交通空白地帯の解消と地域商業の活性化を図るため、平成二十年四月より運行を開始し、利用者も徐々に増加し定着してきています。

なお、市内循環バスの運行については、今後も運行形態や経費の調査研究をしていく必要があると考えます。

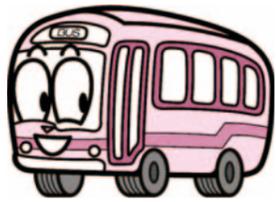
**問** 循環バスを市直営で行った場合と、民間のバス会社が運行した場合の一年間の予算はどのくらいになるのか。

**答** 市長公室長 民間バスが岩瀬駅から真壁駅経由で筑波山口まで運行した場合は約八六〇万円、市が保有するバスを運行した場合は約七二〇万円の試算が出ています。

**問** 平成十九年定例会の大綱質疑で、市長は「平成二十年度には市内を巡回する交通体系を構築していく」との答弁があったが、その後どのように考えているのか伺いたい。

**答** 市長 交通機関の必要性は十分に感じていますが、生活環境の変化により民間バスの利用者が減少しており、以前に急行バスを走らせる実験をしてみました。利用者が増えず、廃止のやむなきに至った経過があります。

しかし、高齢者対策の一環として今後もさまざまな視点から実現に向けて研究していく必要があると思います。



菊池伸浩 議員

## 県の構想は新中核病院の建設、一方は診療所に

**問** 県の構想では「県西総合病院と筑西市市民病院を統合し、新しい中核病院を建設する」とのことである。

全国各地の状況を見ると、中核病院に人が集まり、サテライト病院（診療所）は寂れてしまっている。その設置場所をめぐって、両市で綱引きをしているが、新中核病院はイン

ターチェンジに近い桜川市につくるのが望ましい。建設計画の進捗状況を伺う。

**答** 市長 「筑西・桜川地域の医療提供検討委員会（仮称）」で検討することになっていきます。新中核病院の建設場所は、両市の合意には至っていません。

### 区長の選挙活動について

**問** 選挙活動の先頭に立っている区長がいる。個人の資格で動くのは自由だが、町内会推薦をするのは無理があるのではないか。投票立会人を務める区長の影響力は大きいのではないか。

**答** 総務部長 区民に対する影響力は大きいと思います。区長は非常勤の特別職の公務員です。市民から信頼を得られるような慎重な対応をお願いしたい。

**その他の質問**  
・レストハウスみかげの経営状況と今後の方針  
・当落が逆転する開票速報は改善を



市村 香 議員

## 男女共同参画社会 推進に向けて

**問** 三月の私の一般質問で、市長から「女性構成割合を三〇パーセントにする」と答弁をいただいたが、その後の進捗状況は。

また、市民みんなのものになるための啓発など、条例化に向けた推進が必要と思うがいかがか。

**答** 市長 市民と職員の意識向上を進め、条例化も視野に入れている。女性登用率を高めながら事業を進めます。女性登用率は一・七パーセントです。

**まとめ**  
条例化には、桜川市ならではの視点で推進を考えるべき。

### 少子化対策は

**問** 桜川市の平成二十一年の赤ちゃん出生数は三〇一名、今年は九月までで出生数は一五〇名程度で、三月末でも三〇〇名ぎりぎりだと思ふ。桜川市の少子化は深刻と言わざるを得ない。

少子化対策の一環としても、任意小児VPDワクチンの接種補助をぜひお願いしたい。特に、感染症ワクチン（ヒブと肺炎球菌）はセットで接種でき、費用は七万円前後と高額になる。桜川市の赤ちゃんを守るためにも重要と思うがいかがか。

**答** 保健福祉部長 ワクチン（ヒブと肺炎球菌）は、地元医師会からも要望があり、財源確保に苦慮しながらも年次的に検討していきたい。子宮頸がんは唯一予防できるがんで、平成二十三年度から全額公費負担で実施できます。



飯島重男 議員

## 市内小中学校施設の改善について

**問** 市内小中学校施設の現状と今後の改善について伺いたい。

**答** 教育次長 平成二十一年度繰越事業として岩瀬東中耐震補強及び大規模改修、岩瀬西・東中の太陽光発電設備工事の実施、耐震診断調査の中でIS値〇・三以下の施設について、本年度は椎尾、谷貝、樺穂、雨引、大國、各小学校の体育館耐震補強工事を実施していきま

す。また、小中学校適正規模等検討委員会からの答申を踏まえ、小中の連携強化や小中一貫教育について勉強会等を開催し、将来の桜川市の適正規模、適正配置について検討を進めたいと考えています。

### 農産物直売所の設置について

**問** 農産物直売所の、より一層の認識と推進を図ってもらいたいと考えているかがか。

**答** 経済部長 農業活性化と生産意欲の向上に役立ち、その効果は認識しています。今後、直売



子どもたちに教育施設の充実を

※IS値（構造耐震指数）：耐震診断により建物の耐震性を示す指数です。IS値〇・六以上は耐震性能を満たし大規模地震に対して倒壊または崩壊の危険性が低いとされ、IS値〇・三未満は倒壊または崩壊の危険性が高いとされています。